

市長（作野広昭君）

松任駅南地区は平成 15 年度に策定したふるさと顔づくり計画に基づき、本市の伝統や文化の特色ある整備により駅南広場周辺は、文化創生都市にふさわしい教育文化ゾーンとして教育文化施設を集積し、施設相互の連携を深め、人、ものが集うイベントなどを開催しています。

また、松任駅北相木地区においては、あいのきタウンとして面的整備が進められており、駅北広場周辺では民間の商業施設で埋まり、にぎわいを呈してきています。

今後は駅中心に民間の投資により、にぎわいが拡大されるものと考えています。

松任駅南北広場は、交通の結節点としての機能強化が図られ、また南北市街地を結ぶ自由通路も整備され、その意匠には白山市のさまざまな要素がイメージとして取り込まれ、本市を表現しています。

本年 2 月 25 日、自由通路が全面供用開始されたことに伴い、回遊性が高まり、利便性が向上したところであります。

続いて、6 月 15 日に開催した松任駅南広場完成式典では、まちなかアートめぐりの起点となるシンボルモニュメントの記念除幕が行われ、松任駅南北広場から千代尼通り間に設置されたアート作品全 27 点が醸し出す癒やし空間を発信したところであります。

今後、さらに市民や来訪者が身近に作品に触れられるまちなかアート空間の充実度を高めるとともに、年間を通じて周辺の教育文化施設や広場、城址公園でのイベント等の開催によるにぎわい創出に積極的に取り組んでまいります。

なお、現在、シンボルモニュメントの愛称募集を行っているところでもあり、松任駅周辺が市民の皆様に愛着を抱いていただける場所として利活用されますことを大いに期待しています。